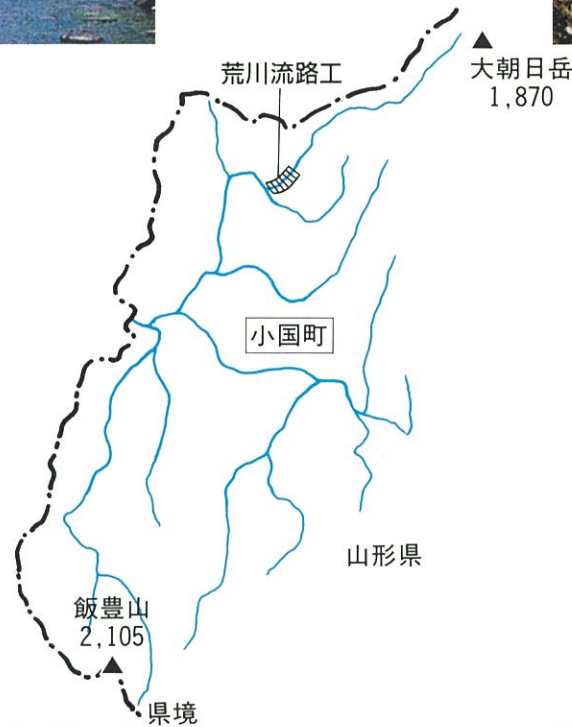




穴渕砂防ダム



大朝日岳



飯豊山



玉川上流第二号砂防ダム



荒川流路工

安全で活力ある地域づくりを目指して



建設省 北陸地方建設局
飯豊山系砂防工事事務所

〒999-13 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町3-48
☎(0238)62-2566

平成5年3月

平成5年3月

建設省 飯豊山系砂防工事事務所

流路工の概要



計画諸元

地 元	流域面積 (km ²)	計画雨量 (mm/日)	計画流量 (m ³ /S)
石滝川合流点	53.4	431	600

工事概要

延 長／1,800m	床 固／ 4基
帯 工／ 9基	護 岸／3,600m

荒川流路工は、荒川上流部の山形県小国町大字五味沢地先に位置し、この地区は、過去、昭和42年8月の羽越水害に代表されるような災害を受けてきました。このような災害を防ぐため、飯豊山系砂防工事事務所では、これまで当地区の上流部において砂防ダムの建設を進めてきましたが、昭和62年度より、約1.8km区間についての流路工計画に着手したものです。

なお、本流路工の主な目的は次のとおりです。

- 偏流・乱流の防止
- 河床堆積物の下流への流出防止
- 溪岸崩壊の防止
- 氾らんの防止

背後地の活用

荒川流路工の背後地には、約14ヘクタールの未利用荒廃地があり、小国町は「朝日山麓リゾート開発」の一環として、背後地の積極的な活用を図っており、長期滞在型施設の整備を目指しております。

背後地の整備については、流路工計画と整合をとりつつ実施するものとし、利用形態としては、左岸側にスポーツ、レクリエーション、研修施設、登山観光拠点などが計画されており、平成4年度には研修棟が完成しています。

右岸側にはオートキャンプ場の計画があり、平成4年度より着手されております。

荒川流路工の施工によって、土砂災害の防止とともに背後地の有効な活用が図られ、これが地域の振興、活性化に寄与できるものと期待しています。

